

# 東建パブリニュース

平成27年11月20日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

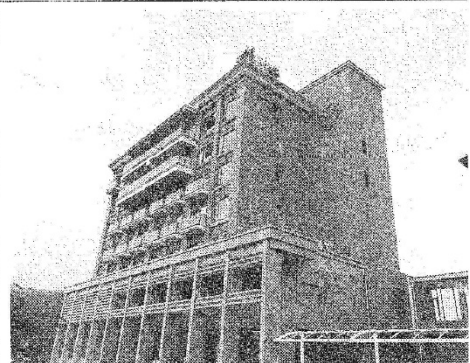
平成27年11月18日 日刊木材新聞 P. 6

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

## 多度温泉のレジデンス新館が完成

東建コーポレーション（名古屋市長）はこのほど、新事業として建設を進めてきた三重県桑名市の会員制リゾートホテル「ホテル多度温泉 レジデンス新館」の内覧会を行った。同社初のタイムシェアリング制を採用したホテルで、売れ行きなど情勢を見て第2弾も検討していく。

レジデンス新館は、東建多度カントリークラブ内のホテル多度温泉本館横に新たに建設したもので、建設費など投資額は約8億円。地上8階建て・建築面



レジデンス新館の外観

もゆったりとしたゾート気分が味わえる間取りや内装を特徴とする。また、屋上庭園や随所のガーデニングで緑化を図った。会員制（タイムシェアリング）で販売される13室は、30泊会員の場合で年間30枚の宿泊利用券が発行され、1室を12人相当でシェアできる合理的な仕組み。別荘やリゾートマンションを実際に所有するのには比べ維持管理費などの負担が低く、固定資産税の支払いも必要ない。同社では周辺環境の整備を進めるとともに、法人などへの利用を提案していく。

積801平方メートル（延べ床面積4265平方メートル）、総客室数21室のうち13室を会員権販売する。全客室に天然温泉による展望風呂を設置しているほか、温泉プールや、建物内のゴルフ練習場、ワイドスクリーンを使ったシミュレーションゴルフ室など斬新な設備を導入。客室はA・Cの3タイプがあり、いずれ

▲ 平成27年11月18日 日刊木材新聞 P. 6

以上